

くわ がた あ き こ

桑形亜樹子

チェンバロ

リサイタル

撮影・林喜代種



時代と国を越えて、400年
チェンバロ音楽の

2023年

10月15日 ㊤

桜美林芸術文化ホール
プロビデンスホール
(〒194-0032 東京都町田市本町田 2600-4)

W. バード
パヴァーメント
ガリアード

F. クーブラン
クラヴサン曲集
第1巻より

J.S. バッハ
平均律曲集
第2巻より
前奏曲とフーガ

田中カレン
香草の庭 (1989)

ほか

※曲目は当日に変更になる可能性があります。

お問い合わせ
桜美林芸術文化ホール運営事務局
042-739-0071 (平日10:00~16:00)

時間

開場 13:15 開演 14:00

料金

事前ご予約制、現金支払のみとなります。
一般 ¥2,000 (税込) 学生 ¥500 (税込)

※全席自由席 ※未就学児の入場はご遠慮ください
※当日受付にて支払、またはホール窓口での事前支払も可能



楽形亜樹子 プロフィール

撮影・林喜代種

チェンバロとは？



チェンバロはピアノの先祖にあたる鍵盤楽器です。ピアノはハンマーで弦を叩いて発音しますが、チェンバロは小さなツメで弦を引掻いて音を出します。イタリア語・ドイツ語ではチェンバロ、仏語ではクラヴサン、英語ではハープシコードとも呼ばれます。およそ1400年頃、ルネッサンス時代に誕生し、バロック音楽の時代に伴奏楽器として、またソロ楽器として華々しく活躍しました。しかし18世紀末に貴族社会の没落、市民社会の勃興と共に、ピアノにその役割を譲り滅亡しました。現在では古楽研究の深まりと共に、博物館に残る様々な様式の歴史的チェンバロが研究され再現されています。
(解説：横田誠三 / チェンバロ製作家)

東京生まれ。東京藝術大学附属音楽高校、同大作曲科を経てドイツ政府奨学生としてアトモルト音楽院、シュトゥットガルト芸術大学のチェンバロ科修了。現在東京藝術大学非常勤講師、松本市音楽文化ホール講師。日本各地での演奏活動の他に音律、古楽演奏に関しての講演、学術論文、音大での特別講義も多数。2017年以降ハイレゾ・アルバムとして『メディテーション～フローベルガーの眼差し～』『J.S. バッハ：平均律クラヴィア曲集』、『ルイ・クーブラン：クラヴサン曲集』を dream window Tree レーベルより世界配信。2018年全音楽譜出版社よりフランソワ・クーブラン『クラヴサン奏法』新訳を刊行。

ご予約

お電話 042-739-0071

(受付時間 / 平日10:00～16:00)

窓口 平日10:00～16:00

(桜美林芸術文化ホール1階事務室)

ウェブ QRコードを読み取り、ご予約いただけます。



アクセス

桜美林芸術文化ホール
プロビデンスホール

〒194-0032
東京都町田市本町田 2600-4

神奈川中央交通バス
「山崎団地センター」バス停 徒歩5分

JR・小田急線「町田駅」から神奈川中央交通バス「町田バスセンター」(4番・5番バスのりば)から「山崎団地行」または「山崎団地センター行」乗車約20分「山崎団地センター」バス停下車。バス停より徒歩5分。



※来場者用の駐車場はございません。公共交通機関をご利用下さい。



チェンバロ本体には、製作者または装飾家や画家が手がけた絵が描かれています。楽器本体も芸術作品として楽しむことができます。